



平成26年5月2日

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

事業名 : 就労困難若年者体験就労支援事業 担当課名 産業振興課

市民活動団体名 : 日本青年事業経営者協会

評価項目		役割担当	市民活動	行政担当	理由
			団体	課	
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	○	○	事業開始前から事業の内容についてしっかりと議論することができた。
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	○	○	この事業実施にあたりお互いの役割を理解しあった。
3		事業の協定書の内容は充分であったか	○	○	着手前としては充分であった。
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	△	△	状況に応じて計画を随時練り直して推進した。
5		事業は対等な立場で進められたか	△	○	進められた。
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	△	△	相互コミュニケーションの不足により、お互いの活動状況把握が不十分であった。
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	△	△	十分な予算がついていない中で団体と市側の同じ歩調の相互コミュニケーションは限界を感じた。
8		課題が出た時、話し合いの場が持つて解決できたか	△	△	課題が出た時などは、メール等で連絡し合い解決を図った。
9	事業実施結果	設定された目標（評価項目）は達成されたか	○	△	当初に設定された目標については達成できた。
10		予算の執行は予定通りであったか	○	○	予定通りであった。
11		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	妥当であった。
12		定められた役割分担は守られたか	○	○	守られた。
13		市民サービスは向上したか	?	△	市民サービス向上に直接連動する協働事業ではないので判断不可。
14		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	△	目標が達成できたことで、次のステップへと進めることができた。
15	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)	(まとめ) 就労困難若年者の施策には事業者の理解があまり得られていない事前調査のイメージがあったが、結果的にはコンタクトをした数に対する前向きな対応はおよそ50%を超える結果となり、今後については、十分可能性を秘めており、本事業を継続する場合は具体的な施策をスタート時点から講じる事で、より良い結果を生み出すことに繋がると思う。		

各々の評価は 達成：○（10ポイント） まあまあ：△（5ポイント） 不達：×（1ポイント）

備考：理由欄は、別紙で提出しても結構です。

鎌倉市 地域のつながり推進課 地域のつながり推進担当
電話 23-3000 内線 2582